

当院で経験した B-PLL の症例

◎座間 慎¹⁾、鈴木 莉可¹⁾、坂内 沙耶佳¹⁾、服部 祐太¹⁾、見付 祐子¹⁾、渡辺 隆幸¹⁾
 一般財団法人 太田総合病院附属太田西ノ内病院¹⁾

【はじめに】 B 細胞前リンパ球性白血病(B-cell prolymphocytic leukemia:B-PLL)は,日本では非ホジキンリンパ腫の 0.08%と非常に稀な疾患である.末梢血中のリンパ球が著しく増加しリンパ球中の前リンパ球の比率が 55%を超えるものとされている.今回我々は,B-PLL の症例を経験したので報告する.【症例】患者:77 歳女性.検診にて末梢血に芽球様細胞を認め白血病の疑いで当院血液内科へ紹介となった.【初診時検査所見】〈生化学・免疫血清〉 TP 8.0g/dL,AST 22U/L,ALT 14U/L,T.Bil 1.15mg/dL,LD 282U/L,BUN 19.1mg/dL,Cre 0.95mg/dL, Fe 51 μ g/dL,sIL-2R 1117U/mL 〈凝固〉 PT-sec 12.8sec,PT-INR 0.98,APTT 26.7sec,Fbg 282mg,AT 109%,FDP 11.2 μ g/mL,D-dimer5.1 μ g/mL 〈血液〉 WBC $10.3 \times 10^9/L$ (Seg 30.0%,Mono 2.0%,Eosino 0.5%,Lymph 5.5%,Other 62.0%),Hb 14.6g/dL, PLT $137 \times 10^9/L$ 〈骨髄〉 NCC $5.0 \times 10^4/\mu L$,Mgk 31 個/ μL ,M/E 比 3.05,Blast 0.6%,Myeloid-Total 45.2%,Eythloid-Total 14.8%,Others 23.6%(中～大型で N/C 比やや大,核小体の明瞭な細胞) 〈FCM〉 CD5+,CD10-,CD13+,CD19+,CD20+,CD23-

,CD25+,CD56-,MPO-,TdT-,cyCD3-,cyCD79a+

【臨床経過】 検診で急性白血病が疑われて紹介となったが,1 年前より血液の異常を指摘されていたことと,FCM の結果よりマントル細胞リンパ腫(MCL)が疑われた.染色体検査にて t(11;14)(q13;q32)を認めず,FISH においても IGH-CCND1 を認めなかった.また病理の免疫染色においても CyclinD1,SOX11 とともに陰性であり MCL も否定され最終的に B-PLL の診断となった.

【まとめ】

WHO 分類で B-PLL は他の成熟 B 細胞性腫瘍を除外しなければならず本症例も MCL との鑑別に難渋した.リンパ球の腫瘍性増加がみられる場合は,様々な検査を組み合わせ,疾患を鑑別するとともに稀な疾患ではあるが,これらも念頭において検査を行う必要があると再認識した症例であった.

連絡先 024-925-1188(内線 30303)